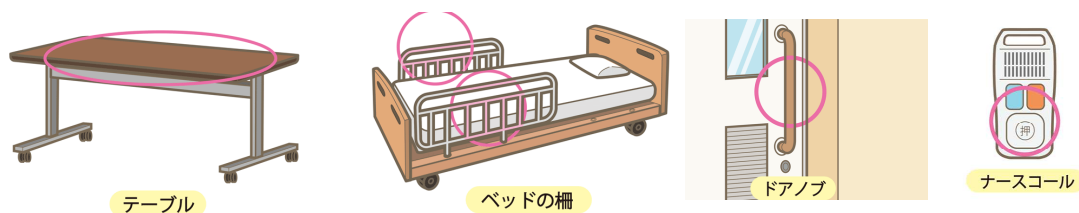


環境整備 Ver.1

1. 新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）は、70%アルコールおよび0.05%の次亜塩素酸ナトリウムが有効である。
2. 高頻度接触部位や医療器材などは、アルコールや抗ウイルス作用のある消毒剤含有のクロスでの清拭消毒を行う。
3. 環境清掃を行うスタッフは自身への曝露を最小限にするように配慮する。
 - ・適切なPPE（手袋、サージカルマスク、ガウン、フェイスシールド/ゴーグル）の着用
 - ・必要最低限の入室

入院病床の清掃

1. 高頻度接触面*は1日1回、推奨される消毒薬含有のクロスで清拭消毒を行う。
 - * 手すり、ベッド柵、ドアノブ、スイッチ、テーブル、ナースコールなど手や指が良く触れる設備や物品表面



※清拭消毒時は **1方向**に拭くこと



右から左へ（または左から右へ）、上から下へ（または下から上へ）
軽く力を入れて一方向に拭きあげる。一度拭いたところを往復させない。

2. 手が触れない環境表面（床や壁など）は、定期的に埃や汚れを取り除く。
 - ・ 床の清掃は埃を舞い上げないように乾式モップ（フローリングワイパー）を使用する。
 - ・ 患者の行動（壁に寄り添って歩く等）を観察し、手の触れる面は高頻度接触面と考える。
3. トイレ、浴室は専用の洗浄剤を用いて清掃する。
 - ・ トイレの便座やハンドルは高頻度接触面として消毒する。

※留意点

- ・ 清掃はゾーンごとに行う。
- ・ 使用物品はゾーンごとに分け、物品を持ち込んだり持ち出したりしない。
 - * レッドゾーン（汚染区域）に持ち込んだ物品をグリーンゾーン（清潔区域）に出す場合は、清拭消毒を行う。